

令和7年度 部活動 規定

2025. 4

1. 活動時間

(1)最終下校時間を以下のように定める。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
時間	6:00						5:30	5:00			5:30	6:00

(2)大会の3週間前から10日以内で保護者に承諾を得て、30分程度の延長が可能。
延長の旨を、生徒指導と管理職に報告する。

(3)中間テストの3日前、期末テストは4日前からテスト2日目、採点日までの活動を停止する。ただし、大会が近ければ活動可能とするが、同じように保護者に承諾を得て、朝・放課後どちらか一方の1時間程度の練習を可能とする。

(4)朝練習の登校時間は、6時55分以降とし、活動場所に入れるのは7時とする。
また、8:15に着席できるように練習を終了させる。

(5)最終下校時間を厳守する。

(6)部活動ガイドラインに沿って生徒の心身の健全な成長を促すため、1日の生徒の活動は、平日は2時間程度、休業日は3時間程度を目安とする。

(7)週当たり2日程度の休養日を設けることを基準とする。大会等で週末の休養日の設定ができない場合は、大会期と休養期を設けて活動する。

2. 対外試合

(1)遠征時の服装は、各部の顧問が指示したものとする。(統一したものが望ましい)

(2)試合会場には集団で移動し、現地集合や現地解散は原則としてしない。
(坪井中学校や北習志野駅など、学区内の適当な場所を集合・解散場所にする。)

(3)試合会場での事故や事件に遭わないように、充分注意する。

①荷物や貴重品の管理を厳重にする。(貴重品は顧問に預け、荷物番等を置くとよい。)

②会場でのルールとマナーを大切にし、注意や指示をよく守る。

③不審な人物を見たり問題が起きたりしたら、直ちに顧問に報告する。

(4)移動時の安全に注意し、交通法規や社会マナーを守る。

(5)自転車での移動は、認めない。

3. 施設・用具の使用と整理

(1)施設、用具の片づけ・戸締まり等は使用した部が責任を持つ。

最終確認は、部長と顧問が必ず行うこと。

(2)使用後は、清掃・整備を行う。

・体育館フロアのモップ掛け。トイレ・玄関の清掃。

・グラウンド→整地。トイレの清掃。(試合等で使用した場合)除草。(夏季)

枯れ葉の除去・U字溝清掃(冬季)

(3)部室は割り当てられた場所を使い、各部で責任を持って管理する。鍵の所在は常に明確にすること。顧問の許可なく部室を使用しない。

4. 服装、ユニフォーム、用具等

(1)活動時の服装は、各部で決められた服装とする。学校指定のジャージ、体操服または各部で統一された服装にする。着替えを行うのも活動場所で行う。

※部活動以外の通常の学校生活時(体育の授業を含む)に部活動の服装をすることは認めない。

(2)休日等での登下校時の服装は、各部の顧問が指示したものとする。

(統一したものが望ましい)

(3)再登校時は、制服・坪井中バックで登校する。

(4)ユニフォームや個人の用具は、自己負担とする。

5. 活動費・交通費等

・活動にかかる費用は生徒会から援助されるが、不足分については各部で負担する。

※部費を徴収する部は、保護者会に部費の管理・会計を依頼する。

・対外行事補助金は、運動部は県大会以上、文化部は関東大会以上から出される。

6. 各部の活動場所

(1) 文化部

- 茶道部 和室
- グローバル部 多目的室
- 吹奏楽部 音楽室 視聴覚室
- 創作部 被服室
- 美術部 美術室

(2) 運動部

- グラウンド 野球 サッカー 男子・女子ソフトテニス 陸上
- 武道室 剣道 男子卓球
- 体育館 女子バレーボール 男子・女子バスケットボール

◆雨天時の活動場所

	朝 練 習					放 課 後
	月	火	水	木	金	
野 球	特 別 棟 1 F と 2 F					特 1 ・ 2 F
サッカー	特 別 棟 3 F と 通 路					特 別 棟 3 F
男テニス	管 理 棟 1 F					管 理 棟 1 F
女テニス	管 理 棟 3 F					管 理 棟 3 F
陸 上	ピロティ					ピロティ
バレー	顧問教室					顧問教室
男子バスケ	顧問教室					顧問教室
女子バスケ	顧問教室					顧問教室

※当日の場所変更や交換については、各部顧問同士で連絡をとり、決定する。
 ※顧問の先生が担任でなく、教室を使う場合は必ず許可をとる。

(3) 事故のないように十分注意し、顧問が活動場所の戸締りを必ず確認する。

(4) 雨天時の校舎内の活動時に外での活動の時のように大きな声を出さない。(職員室、教室、準備室などで執務中の先生方がいることに配慮する)

7. その他

(1) 給食のない日の昼食は、弁当を持参するか、一旦下校して食事を取ってから再登校する。
 ※昼食を買いに校外へ出ない。

(2) 缶ジュース・菓子類の飲食物は絶対に校内に持ち込まない。

(3) 飲み物は、ミネラルウォーター、お茶類、スポーツドリンク類のみとする。
 ※長期休業及び休日の練習時は、補充用としてペットボトルを可とする。(各部で対応)
 ⇒必ず、ゴミは各自で持ち帰るよう指導し、活動後は確認する。

(4) 各自の荷物は、活動場所が各部で指定された場所に持っていく。教室に持っていく場合は、担任と相談をして、教室では絶対に使用しない

(5) 安全面から会議日(学年会、指導部会、干教研、職員会議)は原則諸活動停止とする。
 ⇒大会等やむを得ず活動を希望する場合は校長先生の許可を取る。
 ※長期休業中の会議日は安全性を考慮した練習内容で活動できる。

(6) 休日の練習中にケガが起こりやすい傾向があるので、練習を工夫し、ケガの予防と適切な対応を心掛けること。特に首から上のけがについては要注意。

(7) 活動中のケガは、日本スポーツ振興センターの保険に加入している場合は、対象になるので、報告をすること。

受給券⇒毎回300円 (例) 1回目: 300円 2回目: 300円

日本スポーツ振興センター⇒約3割負担した後、後日約4割が返金される

(例) 治療費: 10,000円 負担: 3,000円 返金: 4,000円

(8) 外部指導者・部活動指導員の申請については、船橋市小中学校運動部指導者派遣事業実施要項参照。

(9) 以上の定められたきまりを守れない部活動については、活動を停止または廃部とする。

(10) 引退後の3年生の部活動参加については別紙参照。

令和7年度 部活動 指導計画

2025,4

1. 指導目標

望ましい集団生活を通して、心身の調和の取れた発達を図ると共に、自らの立てた目標に向かって努力する強い意志と行動力を育成する。また、坪井中学校の代表・集団の一員としての自覚を深め、互いに理解し尊重し合い、協力してよりよい活動・集団を築こうとする自主的・自治的な実践力を育てる。これらの活動を継続して行うことで、生徒自身の自己変革と人間形成を援助する。

2. 指導方針

- (1)基本的な生活習慣を徹底し、けじめや判断力のある生徒を育成する。
- (2)技の鍛錬や学芸を深め、優劣勝敗を競い、さらにそれを越えることによって豊かな人間性を形成する。
- (3)集団の一員として、さらに坪井中学校の代表としての自覚を持ち、責任感・連帯感・思いやりに富んだ生徒を育成する。
- (4)部という集団の中において、互いに協力・尊重し合いながら活動を盛り上げていこうとする自主的な運営能力を高める。

3. 本年度の重点指導

- (1)基本的生活習慣の確立を図る。
 - ①礼儀作法・あいさつ・時間を守る等を習慣化させる。
 - ②部活動規定を厳守するルール尊重の態度を育てる。
 - ③遠征時の公共交通機関でのマナーについての指導を強化する。
- (2)各部の活動を公開し合うことで、周囲の理解や協力を広く得るとともに、生徒相互の部活動への関心を高める。
 - ①部活動保護者会を実施する。
 - ②大会・試合などに保護者が応援に来てくれるような運営を模索する。
- (3)リーダーを育成し、生徒の自主的活動を援助する。
 - ①部長会議を月に一度、定期的開催する。
 - ②生徒の参加・活動状況を把握し、問題に対しては学年・学級との連携を密にして指導に当たる。
- (4)ケガ及び事故の防止の為、安全指導の徹底を図る。
 - ①活動場所や練習器具の管理・点検を徹底する。
 - ②顧問が不在のときの練習における注意事項を周知徹底する。
 - ③自分の健康や安全は自分で守る態度を育てる。
 - ④事故発生時の迅速かつ適切な対応を確立する。

4. 活動について

- (1)「本校部活動の意義」を理解した上で生徒を指導可能な本校教職員で「部活動顧問会」を組織する。各部の顧問は、「部活動顧問会」での話し合いにより決定する。
- (2)部活動規定を守り、各部とも活動を充実させる。また、生徒に活動内容を十分に理解
- (3)入部したら3年生まで継続して活動することを原則とする。
- (4)「部活動指導計画」「部活動規定」に記されていない複数の部の活動にかかる事項（校庭・体育館・武道室使用計画や用具の使用など）については、関係する部活動の顧問間で話し合って決定し、「部活動顧問会」に報告する。

5. 転・退部について

- (1)転部については、旧顧問と保護者・学級担任・新顧問の間で十分に連絡・相談・連携を取って行い、部活担当に報告をする。
- (2)退部については、退部届けを提出することで承認をするが、事前に顧問・担任・本人・保護者間で話し合いを行うこと。

6. 入部について

(1)部活動への加入は生徒の希望によるものとする。従って、生徒が必ずどこかの部に所属する必要はない。また、入部したら3年生まで継続して活動することを原則とする。

(2)在校生の入部（継続）について

①入部の期間は入部届けの提出日から年度末の3月31日までとする。新年度については、新たに入部届けの提出を持って入部とする。

②在校生の入部届は各部の顧問が生徒に返却し、再度記入して、**4月11日(金)までに**部活動顧問に提出する。（担任は印を押す→生徒に返却→生徒は直接部活動顧問へ）

(3)新入生の入部について

①新入生オリエンテーション [4月10日(木)]で、各部活動の活動や顧問の紹介を行い、仮入部や正式入部の方法、活動内容について説明を行う。

②「見学期間」「仮入部期間」を設け、その後の入部届けをもって正式入部とする。

③入部届けを出す部活動の仮入部に参加してから入部することが望ましい。

④朝練は本入部後、参加可能になる。

⑤主な日程と流れ

1) 新入生オリエンテーション（部活動の部）

○4月10日(木)

2) 見学日

○4月14日(月)放課後

下校時間 4:30 (校門通過)

※この日は「見学」のみを行い、活動には参加しない。

※仮入部に必要なもの、質問事項などを確認する。

3) 仮入部期間

○4月15日(火) ~17日(木)、21日(月)放課後

練習終了 5:00 (片付け) 下校時間 5:15 (1年生全員校門通過)

※この期間に見学を行っても構わない。

※この期間に入部届を部活動顧問へ提出する。

(担任は印を押す→生徒に返却→生徒は直接部活動顧問へ)

4) 本入部

○4月15日(火)から正式入部可とする。原則25日(金)まで。

※本入部後の下校時間は、部活動規定による。

5) 4月中の主な校内予定

18日(金) 職員会議 …【諸活動停止・生徒完全下校】

23日(水) 千教研 …【諸活動停止・生徒完全下校】

24、25日(木金) 自宅確認期間

(4)引退後の3年生の参加については別紙参照。

3年生 引退後の部活動参加に関するガイドライン（案）

原則

- ・3年生は部活動引退後に部活動へ参加することは原則できないこととする。
ただし、次のケースの場合は保護者、顧問の承諾をもって参加できるものとする。
- ・朝練習への参加は認めない。平日の放課後練習と休日練習のみの参加とする。
- ・開始時間を守り、遅刻することがないようにする。

ケース① 入試の練習のために参加する

- ・試験の2週間前から、試験前日までの期間とする。
- ・練習内容に関しては、顧問の指示に従うものとする。
- ・1・2年生の練習の妨げになったり、指示に従わない場合、練習に参加することはできない。
- ・原則、自分が所属していた部活動のみの参加とする。

ケース② 入試後、高校での部活動に向けて参加する

- ・公立高校合格発表翌日から3月31日までの期間とする。
- ・高校進学後もその部活動を継続する生徒のみの参加とする。
- ・練習内容に関しては、顧問の指示に従うものとする。
- ・卒業後の再登校時は、部活動の服装で登校することとする。（私服NG）
- ・1・2年生の練習の妨げになったり、指示に従わない場合、練習に参加することはできない。
- ・原則、自分が所属していた部活動のみの参加とする。

（例：陸上部に所属していた生徒が高校でサッカー部に入る予定のためサッカー部の練習に参加する、ということとはできない。）

参加までの手順

承諾書に保護者のサインをもらい、生徒が顧問へお願いに行く。

- ① 生徒は担任の先生から承諾書をもらう。
- ② 保護者にサインをもらう
- ③ 承諾書を担任に見せてサインをもらう
- ④ 生徒が承諾書を顧問へ提出

ケガについて

- ・ケガをした場合、顧問から保護者へ連絡をする。
- ・3月31日までは中学校のスポーツ振興センターの保険適用対象となる。

3年生 部活動 参加承諾書

私は ①入試の実技試験の練習のために or ②高校での部活動継続のために
(どちらかに○)

部活動への参加を希望します。

参加時は部活動のルールを順守し、真剣に活動することを誓います。

部活動名 _____

3年 組 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

担任印

顧問印

3年生 部活動 参加承諾書

私は ①入試の実技試験の練習のために or ②高校での部活動継続のために
(どちらかに○)

部活動への参加を希望します。

参加時は部活動のルールを順守し、真剣に活動することを誓います。

部活動名 _____

3年 組 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

担任印

顧問印